



平成23年8月11日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社
代表者名 代表執行役社長 重田 衛
(コード番号 5103 東証第二部)
問合せ先 執行役財務総務担当 庄司 友彦
(TEL. 04-7131-0181)

継続企業の前提に関する注記の記載解消に関するお知らせ

当社は、平成23年8月12日公表予定の「平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、「継続企業の前提に関する事項」の注記を解消することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

当社グループは、従来から自己資本比率は50%以上を維持し、金融機関からの借入も即時返済可能な金額(平成23年3月31日実績で168百万円)しか行っておりませんでしたので、財務的には非常に安定している状況でありましたが、平成23年3月期決算迄、継続的に営業損失を計上していること及び、営業キャッシュ・フローにつきましても継続的にマイナスとなっていることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる状況が存在するものと判断し、当該事項に関して注記を行っている状況にありました。

当社グループは、これらの状況を改善すべく中期経営計画を策定し、特に業績不振なゴム製品の製造・販売部門において、①ゴム技術者の営業同行による新規受注獲得の推進、②TOC(Theory of Constraints: 制約条件の理論)による製造管理手法の導入による中間在庫の削減及び生産効率の向上、③ゼロベースでの設備投資の見直し、④固定費の経常的な削減等を行うことにより業績改善に努めて参りました。

前事業年度における当社グループの業況につきましては、鉄道施設関連部品及び太陽光発電用機器に用いるシリコンシート等で一部新規受注を獲得できたものの、景気の先行き不透明感から企業の設備投資意欲は弱く、当社グループの業績を改善するような受注を獲得するまでには至らず、さらに、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、当事業年度に入っても各企業は設備投資を先送りする状況が継続しております。

そのような中で当社グループは当第1四半期において、平成23年3月31日現在保有しておりました債券の未償還債権の回収を進めることで多額の現金を回収すると共に、債権の一部については平成23年5月30日付けで当該債権の担保として預っていた株式会社ウェッジホールディングスの株式を担保権の実行することによって取得し、当社の連結子会社といたしました。(詳細につきましては、平成23年5月31日付「株式会社ウェッジホールディングスの株式の取得(子会社化)に関するお知らせ」をご確認ください。)

また、当該債権回収を行った現金の一部を利用し、平成23年7月1日付けで和菓子・中華惣菜の製造販売で、安定した経営成績を残している明日香食品(株)及び明日香食品工業(株)の2社の株式の49%を取得することで、当該2社を当社の持分法適用の関連会社化いたしました。(詳細につきましては、平成23年6月3日付「明日香食品(株)、明日香食品工業(株)2社の株式の取得(持分法適用の関連会社化)に関するお知らせ」を

ご確認ください。)

この結果、債権回収により当面の事業資金の確保が現実したこと及び業績が好調な企業を当社グループの傘下におさめたことにより、今後の事業資金の安定確保が図られる目途が立ち、且つ、平成24年3月期の連結業績は改善される見通しとなりました。

以上により、当第1四半期連結会計期間末時点においては未だ継続的な営業損失の計上という継続企業的前提に重要な疑義を生じさせるような状況の解消には至っていないものの、継続企業的前提に関する重要な不確実性は認められないとの判断から、当該注記を解消することといたしました。(営業黒字化の詳細につきましては、平成23年8月11日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご確認ください。)

株主の皆様、お取引先の皆様をはじめ関係者の皆様には、大変ご心配をお掛けいたしました。今後も業績好調な部門を伸ばすと同時に赤字部門の業績改善に邁進し、当社グループの更なる業績の伸張及び株主価値の向上に全力で努めて参りますので、引き続きご支援いただけますようお願い申し上げます。

以 上